

# 21地区の地域福祉活動計画 作成のながれ

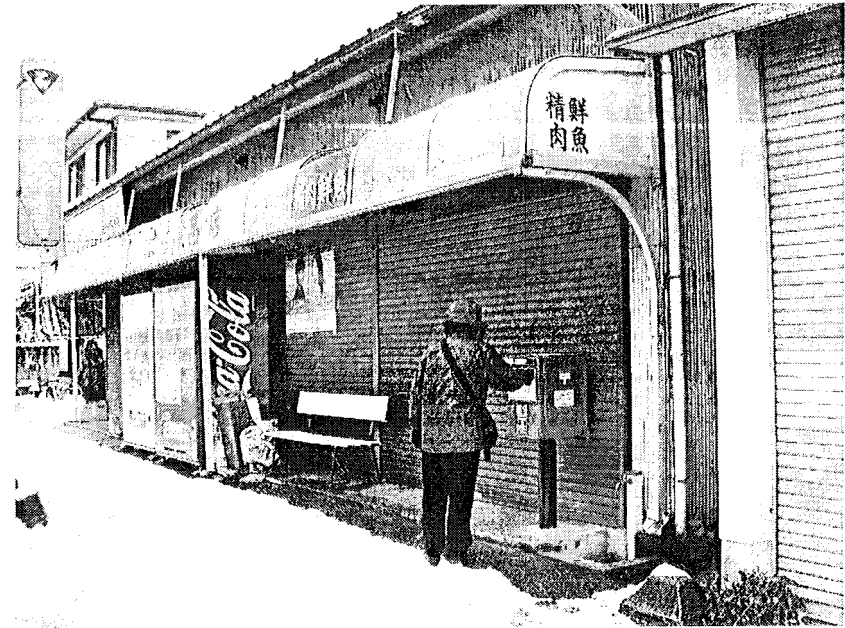
- 地区の現状の把握  
住民意識・生活課題・参加型福祉活動・社会資源
- 地区活動の現状把握と分析
- 浮かび上がった課題の整理
- 重点事項の明確化と解決のための方策の立案
- 地区地域福祉活動計画の全体像を描く
- 福祉目標の設定
- 地区社協の組織としての決定
- 住民への説明会や広報活動による周知

## 現状把握から浮かび上がったこと

- 地区社協活動が十分に知られていない
- 民生児童委員・福祉協力員活動があまり知られていない
- 相談相手としての公的な機関が知られていない
- 地域の連帯意識が薄く、地域で相談相手が得にくい
- 市レベルで養成されたボランティアが地域で活動できていない
- 町内会未加入者への対応に苦慮している
- 新旧住民の融合に壁があり、交流の場が求められている
- 高齢者にとって町内会の仕事が負担になっている
- 住民が気安く集う場所がない
- 農村部では  
病院や行政機関などへ出かける交通手段がない  
幹線道路のバス停に出かけることが困難

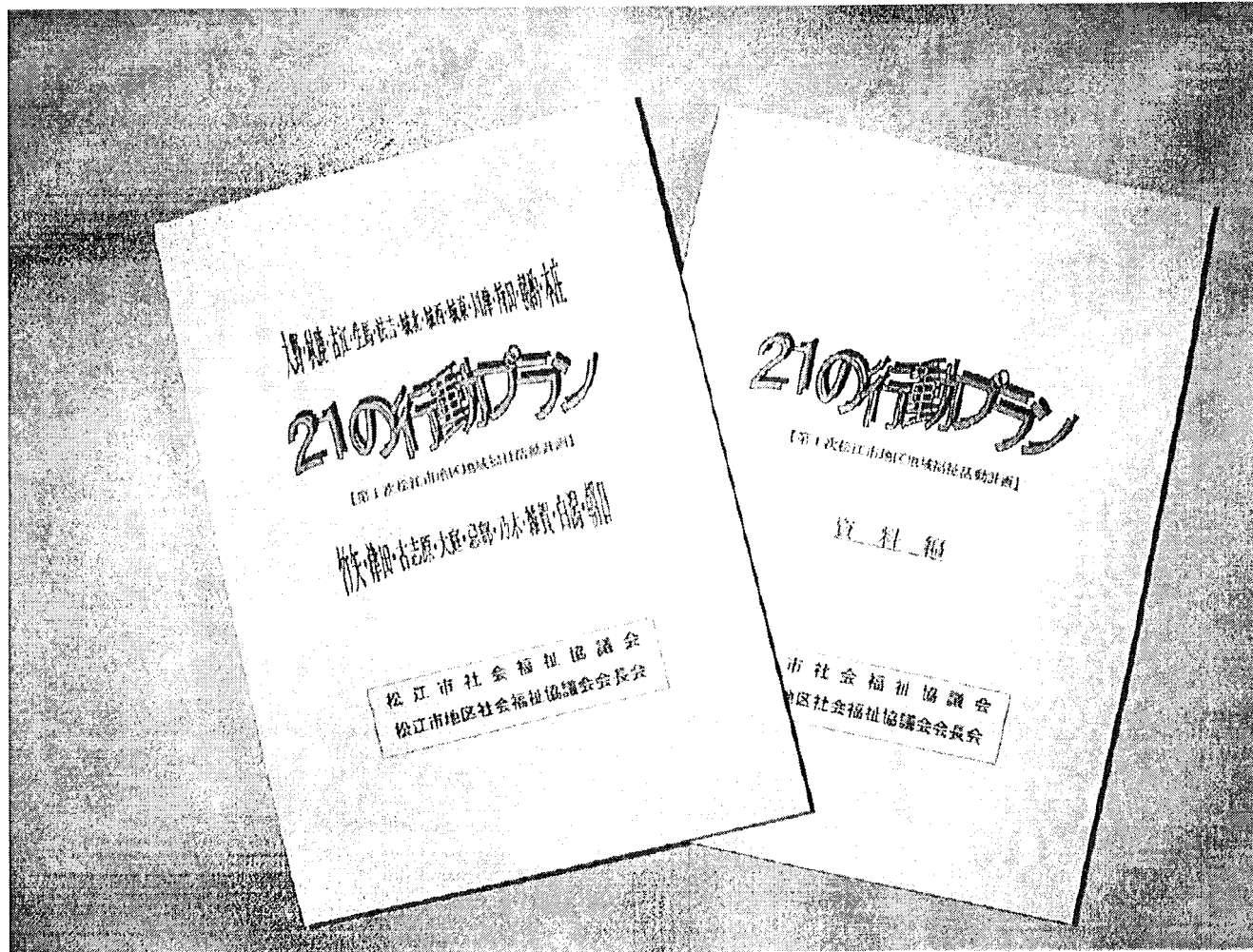
# 地区の実態調査 の課題の解決例

- 郵便ポストが少ない声に対応し、地区内の6箇所にポストが新設された
  - 巡回福祉タクシーが運行された
  - 全町内に福祉部を設置した
  - 福祉祭りを開催することになった
- など



# 21の行動プラン

## 第1次地区地域福祉活動計画の完成



# みんなでやらこい 福祉でまちづくり 推進セミナーPART I



# 第1回策定委員会

平成14年7月23日

